

# 西多摩医師会報

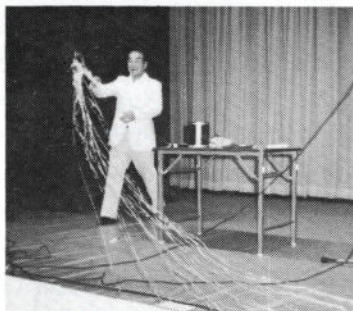
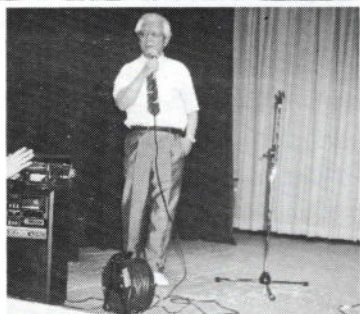
1987年9月1日

177号

発行所・社団法人 西多摩医師会 東京都青梅市西分3-103  
編集委員・石井 好明 井村 進一 TEL.(0428)23-2171(代)  
栗原 琢磨 小林 杏一  
道又 正達 村山 正昭 渡辺 良友

## 病診連携のために懇親会開催 ～酷暑にはビールとカラオケ～ 羽村町コミュニティ・センター

62. 7. 29



## 古い新人の弁

大橋 忠敏

新規開業者ということで、槍玉にあげられ、何か書かなきゃならないことになりました。

思えば私が青梅市立総合病院に赴任して、自動的に西多摩医師会員になってから27年の才月が流れました。若冠(?)40才だった私も今や67才。青梅で「花の大正9年会」と称して、共に痛飲した笹本義太郎先生既に亡く、藤野先生去り、百瀬先生は引退宣言をされた今になって、事もあろうに新規開業とは、何と申しましょか、誠に酔狂な話であります。元来私には古い螢光灯みたいな所がありまして、自動車教習所の門を叩いたのが54才、ゴルフを習い始めたのが64才の時、気の早い人ならもうやめようかといいかねない年になってから思い立つという、悪い癖があります。

今回の開業もその伝で、「あの年で大丈夫かいな」という陰の声もあったようですが、自分の心の赴くままに仕事をして見たいという単純な動機から、ふとその気になった次第です。ひっそりとささやかに始めるつもりでしたのに、多くの先生方から、晴れがましい祝福や激励をいただいて、戸惑いながらも有難く、感激いたしました。

開業早々に会員の先生方から患者をご紹介いただいたお陰で、現在の私の生き甲斐であるへモの手術を、最初の1カ月で4例やることのできたのも、有難いことでした。

世に痔持ちは、浜の真砂ほど居る筈ですが、医者の方へ行って尻をまくって見せるのは、あまり嬉しいことでない、売薬に無駄金を使ったりして、散々苦しんだ揚句、もう恥も外聞もないという心境に達した大痔主でない、仲々受診に来ません。ですから、来た患者の過半数は、手術の適応で、坐薬なんか

使っても庇にもならないという程度のもです。その旨を告げると、大抵は「もうその覚悟で来ました」ということで、すんなりと話が決まります。

ところで、私が病院勤務中に、段々と事務屋にならざるを得なくなって来て、医者としては、週に一度の肛門専門外来に出るだけで、病室とは全く縁が切れてしまった時に、家族をかかえた主婦の方から、なんとか入院しないで済む方法はないか、という声をよく聞かされまして、局所麻酔によるへモの日帰り手術を思い立つに至りました。これは、麻酔料は入院料もとれないので、稼ぎの効率はあまりよくないですが、患者が積年の尻の悩みから開放されて、「生れかわったようです」などといわれると、こちらも最高に嬉しくなります。

さて私は、病院をやめてから、老人ホームとその併設診療所で、内科の泥縄勉強を始めましたが、外科医の名残りをとどめて、処置室の片隅でへモの手術だけは、やり続けて来ました。今度はこれを目玉にして、自力でやって見ようという不逞の志を抱いた訳です。

これまでの「親方日の丸」のかわりに、「親方この俺」の旗を掲げて、ちょいといい気分になったりして、我が乗る舟は出航したのですが、外海の波は意外に荒く、「親方火の車」になりかねない雲行きです。しかし、もう乗りにかかった舟で、引き返す訳には参りません。なるようになるさと肚をくくって、やって見るつもりです。沈没するまでは、絶対に間違いないく浮いている筈ですので、何卒よろしくご指導の程、お願い申し上げまして、新入会のご挨拶とさせていただきます。

## パリでの一日

堤 次雄

山のひなびた温泉場で昼間は緑陰に暑気を

避けて文庫本など読み、飽きれば眠り、夕べ

には温泉につかった後、のんびりと酒を楽しむ。

「ウーム。これはせいぜい沢山の時間の使い方が夏休みはこれでいこう。駄目根先生はこの自案に満足し、にんまりしたものだ。」

このプランを奥さんに話すと、「それはもっと先の楽しみになさいよ。」と意外にも奥さんは反対であった。

「あなたの年にもなるとこの先、何が起っても不思議じゃないと思うわ。元気なうちに海外に行きましょうよ。思い出は早く作る方が得だと思うわ。」とまくし立てられ、半ば脅されて、先生は何日か考えた末に、とうとう奥さんの案に同調し、ヨーロッパ行きを決めたのである。

「その代りにだ、道中は文句言なしたぜ。」と奥さんに約束を取りつけたのは、恐妻家の先生としては出来であった。

#### お巡りさん

メトロを出た夫妻は16世紀に建てられた古い煉瓦の建造物を見るために出かけた。

この二人は、今まで建築物に造詣ぶかいとか、興味を持っている人だとは耳にしたことがなかった。短い持ち時間しかないのだから、もっと他に見る所があるろうに。と思うのだが、どうもこの点がわからないのである。

二人は一つ道を間違えたばかりに大分歩いてしまった。目的の建造物に着いた時には、先生は足を引きづっていた。

先生は建造物前の広場のベンチに腰をおろして脛をさすりながら顔をしかめた。

「もう、中は見んでよろしい。宿に帰ろう。」と不気嫌そうに言った。実さい、先生は疲れて喉がからからに乾いていたのである。

「あなたが、どんどん先を歩くから道を知ってるのかと思ったわ。」と奥さんは、ツンとした顔で言った。

「何を言うか。はじめてのパリで道を知るとるわけじゃないか。」と先生は口をとがらせた。この夫婦は日頃から、さ細なことでもよくもめるのだが、速くパリに来てまでやり合うことはないのである。折角の旅だし仲よくやればいいんですよ。

向うからお巡りさんがやって来た。奥さん

は彼の所に行って、「すみません、ムッシュー。」と言うと、「なんでしょう。マダム。」とはほ笑みながら帽子をとり背の高い彼は少し腰をかがめて聞いた。タクシー乗場を尋ねたのであるが、彼は夫妻と道まで同行し、「この道を行くと大通りに出る。そこを右に曲って百メートルも歩くとタクシー乗場があるが、今、バカンスでタクシーが少ないし、少々待つかもしれませんよ。」と親切に案内してくれた。彼の愛想よさと、ソフトな態度が極めて自然なのに先生はいたく感心していた。

西欧では幼時から男は女性に親切でなくては遊びの仲間に入れてもらえない。その習慣が大人になって、ごく自然な態度として出てくるのだろうと、先生は思った。

「あのお巡りさんは未だ年が若いと思うんだが、気の毒に頭の毛がだい分薄かったなあ。」と先生が言うと、奥さんが「あなたは変なところで優越感をもつね。」と笑った。

#### タクシー

ホテルまで夫妻はタクシーに乗った。運転手が、「アメリカの旅行者ですか。」と聞いたので二人とも驚いて、「ノー。日本人だよ。」と言うと、彼は「マダムの言葉が英語なまりなもので。」とすまなさそうに言った。先生は色黒の上にゴルフ焼けだし、多分アメリカ、インディアン夫婦と間違えられたのであろう。

この運転手はスピード狂らしくて、小型車のくせによく飛ばすのである。途中、急ブレーキをかけられ夫妻は前につんのめった。

むかし、東京にも悪名たかき神風タクシーがあったが、さしずめ、神風バリ版だよ。これはと先生は思った。

「こんな奴にチップはいらんよ。」と先生は怒ったが、奥さんに「日本人がケチと思われるのもシャクだし、上げたら。」とたしなめられて、「それもそうか。」と先生は思いなおして降りる時にチップを渡した。

運転手に、「メルシー。ムッシュー。」とにつこりされると単純な先生は、先の怒りはどこえやら、何事もなかったような顔をしていた。

日本のタクシーは、ピカピカに磨いてある

が、パリのタクシーは可成り汚れたのもいる。

車は機能すればよいのだ。汚れなんて気にしなさんな。というのが運転手達の考えかもしれんわい。と先生は思ったものである。

#### 食事

日本を立つ前、「折角パリに行くのなら、マキシムか、トゥール、ダルジャンなどの高級レストランで一回は食事していращいよ。」と奥さんは友人に言われたそうである。夫妻はグルメではない。だから、鴨や、フォアグラ、トリュフ等を使った高級料理を食べたいと思わなかった。二人は田舎出のせいか、格式ばつた所が苦手で、気後れもあるのだろう。だが、味に貧困な人は折角のチャンスに損をしているなあと思うのである。

夫妻の食べるものというのと、ケチるわけではないのだが、殆どパン。生ハム、チーズ盛り合せ、野菜サラダなどの普段食べつけているものばかりで、ボリュームがあるので一人前をとり、二人で分けあって食べていた。奥さんは時にスープを足した。先生はテーブルワイン(日本のより大きい。)二杯と、それにビールを追加したりした。

「あなた、よく飲むわね。大丈夫なの」と奥さんが言うと、先生は「だまんなさい。文句なしだと約束したじゃなか。」と言って胸を張つた。奥さんは恨めしげな目をして口をつぐんだ。

あちらの人は、戸外で飲み食いすることが好きである。食堂や喫茶店の戸外にはテーブルが出てあり、「カフェ」とかいうそうだが、大ぜいの人が飲んだり食べたり楽しげに時を過している。その前を人や車や犬も通り、風がふけば砂ほこりと一語に犬の乾いた糞末も舞い上るわけだ。

そんなことは気にならんらしい。それよりも外気や日光に当たりながらの食事、おしゃべりが、うんと価値が大きいと思うだろう。日本人と西欧人との感覚の違いならん。と先生は思ったことであった。

#### お嬢さんとカメラ

ホテルのロビーで先生はカメラを肩に仕度にてまどる奥さんを待っていた。

玄関の方から、やや小柄な若いお嬢さんが

やって来た。背すじが伸び足ばやで若々しい。彼女と目が合い、にっこりされて先生は慌てて、無理に笑った顔をしたようだった。このお嬢さんが先生のところに来たのである。

彼女は「日本の方ですか。」と聞いた。その頃、支度が終って奥さんが来た。

彼女は「そのカメラ知ってます。わたしには高嶺の花ですわ。7千フランはします。(日本でより大分高価で約17万円)、見せてくれませんか」と言った。見ず知らずの人にカメラを見せてくれ、写させてくれというのだから、このお嬢さんは相当なカメラ好きだと先生は思ったのだった。

「お嬢さんはパリの人？」と奥さんが聞くと、「ええ、でも子供の時は父の仕事の関係で、モナコに居たわ。パリに住んで14年になります。モナコは小さな国だから知らないでしょう。」と聞いた。「馬鹿にしないでよ。そのくらいの地理は中学生の時から知ってるぜ。」と先生は心の中で思って、「コート、ダジュールにあってさ、モンテ、カルロ、グレース、ケリー。」と言うと彼女は驚いたように、嬉しそうな顔をした。

「日本のムッシュは博識だわ」と思ったろうな。と一人で合点し、先生は興奮していた。若い女性を見れば、よくやるのである。お嬢さんを上から下まで想像的、透視的に見るのである。『白い胸はふくよか。パイは上向き。ウエストは程よくしまり、ヒップの張り出しも実によろし。MONSの柔かい丸み。いいねエ。』

「これは上等だァ。」と危やうく声がでそうになって慌てて手で口を押えた。

奥さんが、「なにをひとり笑いしてるの。あなたって薄きみ悪い人だわ」と先生を睨んだ。先生のカメラは、日本でも人気がある。アルファー。であるが、夕方早い時間でホテルのレストランには未だ客が居なかった。先生がテーブルにカメラを置いてみると、丁度、若いシェフが通りかかり、「オートマチックでしょう。いづれ買うつもりだ。」と言ってカメラを手にして眺めていた。

この様に、西欧の人に日本製カメラの人気の高さを知り感心した。テレビ、ビデオ等に

しても同様の人気なのだろう。

高品質のものが、安く、どんどん流入してくれば、E. C.の国のやっかみも出ようし、摩

擦が生じるのも当たり前だ。と先生は思ったものだった。

(1986年 夏)

## 家庭医の実践をめざして

小林 杏一

私が、青梅で開業してから3年半を迎えようとしています。正直なところあつという間に過ぎた感じです。父が開業していた事もあり診療当初は患者さんより父の思い出話を聞き頑張らねばと思ってみたり、子供の頃の話しをもち出され、気恥ずかしい思いをしたりで、診療しているのか、雑談しているのか分からない様な有様でした。しかし、こんな事も過緊張になりがちな自分の気持ちを、多分に柔らげてくれた様に思います。大学勤務時代と違い、何でも思い通りに出来る反面、責任の重大さをずっしり感じる毎日で、先輩の先生方からも気楽にやらねばとアドバイスを受けてたり、気分転換にと夜の集まりに誘われたり随分御協力いただきました。診療面においても、各科の先生方に御教授頂き、何とか自分なりの診療態勢が少しずつですが出来てまいりました。医師会においては、福祉部委員、会報部委員等、重要な役を仰せつかり、診療外でも初めての事ばかりで戸惑いました。外来診療の他にも、予防注射、乳児健診、成人、老人健診、学校医事業と仕事数が多いことに驚いています。ところで、実際の外来診療面

では、地元意識の強い環境も手伝ってか、家族ぐるみ、あるいは親戚、知人の紹介でみえる患者さんが多く、「家庭医」希望を強く感じます。往診依頼が多いのもこんなせいかも知れません。全国的に高齢化が進んでいる現在、青梅も然りで、寝たきり老人も増加する傾向が有り、家庭医としてどう対処していくべきか考える事があります。疾患別にみても循環器、脳血管障害の患者さんが増えていると思いますが、家族より入院を希望されたり又、入院必要と考えても、満床の病院が多く思い通りにならないのが現状です。入院設備の無い我々にとり、患者さんを外来及往診する事で、無理に長期間診てしまうケースも増えている様に思います。病院勤務時代には、何故もっと早く入院してこないのか等勝手に憤慨したりで、立場が異なるとこうも考えが変かるものかと、反省しているところです。医師会でも病診連携が問題となっていますが老人医療に対しても真剣に検討すべきだと思います。各科細分化傾向になりつつある現在「家庭医」として少しでも貢献できる様努力したいと思います。

## 開業三年目をむかえて

横田 卓史

先日、羽村町夜間急患センターにて、村山先生より原稿依頼の電話を頂戴したときは、「寝耳に水」返答に窮した。曰く「先生も開業されて三年目に入られたため、順番からしても書いていただかねばなりません。

テーマは特に無く、日頃思う事など自由に書いて下さい。」との事であった。無論、医師会報には目を通すし、諸先生方の健筆に日

頃敬服していた私だが、自ら投稿でもせぬ限り、依頼される事など有り得ない事と置いていたからである。折角の御指名なればと筆を取っても思うに任せず、「自由に書け」との事程難題は無いと思いつつ、煩瑣な日常に追いつてられ、来し方行く末に思いを馳せる暇も無い我が身を思い知った次第であった。そもそも私が羽村に開業したのは、古い会員の

先生方には御記憶の方もおいでと思うが、祖父静蔵がその昔医院を開業していたからである。父浩は岡山大学を卒業後、鳥取にて外科医院を開業、現在も健在で、彼の地で半隠居の生活を送っている。それ故幼少の頃のみではあったが私も羽村に暮らし、学生時代は鳥取で送り東邦大学を卒業後、三年程世田谷区三軒茶屋にて開業していた。三年前に戻って来た羽村は、河原と雑木林と桑畑の寒村から一転し、整備された道路と先端技術を極めた工場が違容を誇る町へと変貌していた。それに伴う人口の増加もあるとはいえ、開業の先生方も思いのほか多く、果たして若輩の私が、経験豊富な先生方に倂して行けるか、若干の不安があった。幸い整形の稲垣先生は私の従兄に当たり、公私ともにお世話になり心強か

ったし、現在も大いに頼りにしている存在である。当院の隣には、松原副会長が開業しておられ、私の開院を決諾してくださったが、日頃ご迷惑をおかけしていることと思う。以来丸二年が過ぎ、非才な私にも頼ってくれる患者が少しずつ増え、何とか糊口を凌いでいる今日このごろである。余り物事にこだわらない性格故、一度の面識も無かった青梅総合病院や福生病院の先生方にも、厚かましく紹介状を書き、患者をお世話戴いている次第である。医師会活動については日が浅く、恥ずかしながら全く役に立たないと思うのに、地域医療委員会の末席を汚させていただいている。とまれ、これまでの御無礼をお詫び申し上げるとともに、今後の御指導を宜しくお願い申し上げ、筆を置くことにする。

## 開業一年目の所感

玉木一弘

夏季特集号に新入会員の自己紹介を兼ねた寄稿をとのご指示がありました。また、先月号の『あとがき』でも、医師会の年齢構成が半世紀以上の広がりを持つ為、年齢差を越えた相互理解と、問題対応能力の向上に資す、多くの意見発露が求められる旨の記事に接し、励まされる様に筆を取り、開業一年目にして思うところを、とりとめも無く記してみました。

私は昭和28年、福島に生まれ東京に育ち、私立芝中高から杏林大に進み、同消化器内科大学院から、国療中野病院呼吸器科、心臓血管研究所付属病院循環器科を経て、昨年6月に開業致しました。30代の前半ですので、医師会年齢階級の最下層に属する若輩ながら、けして新人類の域に入らず、私もまた、新旧の価値基準の狭間で翻弄され、後ろから続々と迫り来る何か『真新しきもの』を常に意識し、畏怖し、その対応に追い立てられています。

加速度的技術革新、価値基準の多様化、普遍的権威の失墜、展望無き流動的未来、生き甲斐の喪失、今この時代の時間は想像を越え

て加速され、僅か数年の年代差すら、異人類の如く見せられるのは、私たちの年代でも例外ではありません。

鍵は、今この時代を冷静に認識し実感する『時代感覚』をひとつにし、事に当たってたじろがぬビジョンを共有することにあるのではないでしょう。

開業一年目にして、拙い経験を振り返るとき、医師会の諸先輩が、家族ぐるみのご苦労の中で、多年に渡って築かれた業績、果たされた責任の重さを、改めて実感し、技術者として、学究の徒として、事業主として、生身の人間として磨かれた判断力と実行力に、敬意を表するものです。

今更、私が述べるまでもなく、確実に医療現場にも時代の波は打ち寄せております。産業界は、医療を巨大なサービス産業として位置付け、膨大なコストにあえぎながら、経済性と効率の論理が、医療行政の骨子となり医療の質を左右し、技術革新は生命を操作するに至り、データ医療は経験を凌駕するかに振舞い、契約社会は医師と患者の心のつながりを分断する方向にはかり作用しています。

病める人々に対する全人的取り組みは、容易ではなく、開業医としての日常診療を積むほど、今更ながら『心』が置き忘れられてきたことに気がきます。心を病み、身の痛み置き替え、人生の手引き書を求めて、医師の間をさ迷う人々のなんと多いことか。

衣食住は、そこそこに足り、さりとて、働けど何程のものも得られず、せめて幸せを探し続ける為に健康であり、尊厳ある生をまっとうしたい。時代が混迷すればする程、願いは切実なものとなり『延命の大義』だけでは説得力を失い、生物としての長寿だけで無く、生き抜く寄り所や方法論の提供が、如何に重

要であるかが改めて問われています。それは医療を越えた社会的、文化的取り組みを要する問題でもあり、そうした総合的な健康医療計画を提言し、実現されるべきビジョンを世に問い、如何に医師としての役割りをまっとうし得るかが、否応無くこのプロ集団の根幹を揺るがす問題となる時が来るような予感がします。出来高払いの存非、医療機関の格付け論、自由開業制度の見直し、家庭医制度の導入、病床の規制等、官製の攻勢にさらされ続ける今、組織内部の手続きや議事の方法論に、多くの時間や感情を費いやす時では無いと思います。

「槿花一日の栄華」 小泉新策

槿花一日 自為 栄という  
李白の詩情 心打たるる

おもむろに 心にしみる この詩情  
人生見つむる 鋭さ 好みて

閑暇あらば 唯 先人の筆蹟の  
雄渾の様 偲ぶ楽しさ

曇り空早魘 続くこの夏に  
ジャングルの雨期 すさまじさ手記に偲びぬ

幾年月の流れし 今に思ひ出す  
慟哭の ジャングル 離脱のビルマよ

幾百の 手長の猿の群 去り行けり  
我 羨みて 泣くに 声なし

秃げ鷹の群れて 舞う見ゆ  
我もまた 鷹の餌食と 果てんかと思ひて

診ることが 餘生の 使命と徹す今  
旅行も 娯楽も 何も求めず

## 原爆の日

炎<sup>ヒ</sup>盛り 広島ドーム 鳩の舞ゆ

ミサ四<sup>ヨ</sup>十二年<sup>ニ</sup>を 坂の長崎 夾竹桃

孟蘭盆 隅<sup>ス</sup>土間<sup>ド</sup>に白き ハイヒール

藤椅子の きしみも愛<sup>メ</sup>でて 読み耽<sup>ダ</sup>る

秋扇 そぞろ煽<sup>フ</sup>ぎて 蔵<sup>クラ</sup>いけり

わずかなる コスモス椽<sup>ノ</sup>に 寺静か

◇ ◇

終戦を ビルマで迎えし 戦<sup>ト</sup>友<sup>ト</sup>二人

桜<sup>サ</sup>ちるころ 共に散<sup>チ</sup>りたり

広島<sup>ヒ</sup>のドーム炎<sup>ヒ</sup>に 燃え立ちて

四<sup>ヨ</sup>十二年<sup>ニ</sup>を 去<sup>ク</sup>りぬ 鳩の舞<sup>マ</sup>う見<sup>ミ</sup>ゆ

マスダ印刷 増田 元助

## ☆ あゝ 兵 隊 ☆

マスダ印刷 増田 元助

昭和17年農林高校講堂で兵隊検査を受け、大友中佐の立合で行い64人、審査の内12人が甲種合格、(近衛適)の3人で帰りに住吉神社に報告お礼のお参りをした。翌18年4月10日桜満開の営庭、赤坂檜町東部第六部隊第一機関銃に入営、自動砲班に配属され御守衛用91式脚付最新小銃と砲で三種類、3日後厩に行き中隊に駄馬6頭、隊長用乗馬1頭、自動砲班は「笹海」と「沢良」の2頭の手入当番、順々に馬を20m先まで引いて来いと初年係上等兵が命令をする。「その増田、馬の顔を見て歩けと言っても駄目だ、前を向いて縄を引け」私は馬は始めてなので口に出かかったが、馬が動き出したので20mを引けた。後に「笹海」の手入で水喰の時、営庭に逃げられ40分も後を追いかけて捉えて厩へ帰り丸太で5回も尻をたたいてやった。その故か二度と逃げ出さなかった。風呂へ行って来いと言うから、ざぶんと浸り帰って来たら「遅い」と班の入

口で二年兵に殴られた。次回から洗面場に行き頭と顔を洗って来たら例の二年兵が「よし」と言った。

中隊に声優桜井長一郎上等兵、本部に俳優佐野周二軍曹が居て酒保に初年兵同志で東六まんじゅう目当てに20人位一列従隊で並んで待って居たら佐野軍曹が横を通り、番を待たずに菓子袋を下げて急ぎ戻って来た。

「色男は違うな」と初年兵同志15分待ってまんじゅう2個、富士に第一大隊演習で東京駅前で婦人会が茶の接待、馬上の部隊長には一番ばあさんらしい人が一人でお茶をどうぞ、佐野周二の所は15人位若い奥さんが黄色い声、女の人は位より色男に限ると思った。

大月に着き駅に降りたらパラソルを差してリボンを付けた娘さんが2~3人、別の娘さんばかり10人以上「何か」と問うと、佐野周二を見に来たと「元気でこうよ」の映画、出演後7ヶ月過ぎたばかり、それではファン



かも知れない。軍曹に女優が余り多く面会があるので、私が入営2ヶ月前「軍の風紀が乱れる」と一大隊から本部付になった。(本部隣が面会所)二大隊と一緒に入営した青梅の中野君が、家に手紙を出したいが書けないと、勝沼の住所を書いて私に頼むと置いて行った。仕方なく、時々お世話に成る便所の暗い灯りで「元気です。近い内に青梅へ外出します。三時迄で帰隊します。」後で兵隊は「有難う」でおしまい。

東部六部隊(赤坂檜町)を新宿駅まで風呂敷包みに(銃は無く)帯剣のみにて徒歩約300名夜行列車で甲府駅着63部隊に宿泊。当部隊で関東地方より現地徴集5日間で約500名集結、30才前後の召集兵が多く、昭和18年10月21日門司港へ出発した。その前日練兵場に舞台を建て女優栗島すみ子さん卒いる水木流日本舞踊「明日はお立ちか」等に送られ、面会に見えた家族の方々や内地とお別れ、スマトラに居る近歩三、本隊追援の為、昭南島へ門司から1万屯級輸送船団12ハイでマニラ沖通過後、敵潜水艦の魚雷数発を避け乍ら全艦無事昭南島へ10間で着、艦上から市街を見るとビルの上には日の丸の旗が翻えり道路両側の各家には日の丸が、子供達は小旗を振って迎えて来れた、こんな南の国まで日本の国威が及ぼして居ると思い、この時は「よくぞ日本に生れたる」の感を強くした。中兵営に入所後3日目にスマトラ行がビルマ行と部隊長も変り甲装備(機関銃隊へ重機関銃5台も増しどうやら、ビルマの前戦に回されたと思った。内地への通信は禁止され、甲府を発つ前日の面会の折、父にスマトラへ行く、バナナ、パイナップルは食い放題だ、良い所へ行くから家の皆んなに心配無くと伝えた。皆もそうだと思う「軍隊は運隊」だ、なる様にと考えたが東部六部隊は後に部隊長以下全員玉砕せりと聞き、ビルマの方が増しかと思った。ビルマ突端のビクトリアポイントと云う所に小銃隊一個中隊機関銃一個少隊で飛行場と附近警備を6ヶ月で100k先の本隊へ合流した。此処は奥地には象や豹が居り時々野豚が群をなし畠を襲う現地人は火を焚き空缶を一晚中叩いて居る。獵銃は村長宅に1丁だけ、此処

へ部隊長が2ヶ月後視察に来ると憲兵軍曹が伝えて来た、この時は軍装、其の後2~3回見かけたがいつも現地人の服装だ。ポイントから見える沖のプロトン島の住人が殆んど英国系のカレン族でスパイが多い。一中隊長の話だと、衛兵に立った時髪や髭を染めて居るのはカレン人だ、特に注意せよと布令られた中隊に内藤軍曹(金鷄勲章支那事変で)が居り陣地構築の指導に当たった街道の回り角の丘に大きなトーチカ裏に弾薬庫を造り、銃眼の大きさで若い少隊長は大きく造れ、敵を射撃しやすい様にと、歴戦の勇士内藤軍曹は幅が良いが高さを低くと意見が分れたが結局少隊長に従った。毎日壕掘りと訓練後少隊全員で部隊長の視察前で、毎晩勉強をした。軍人勅諭戦陣訓は六部隊で現役兵は暗唱済み、典範類迄猛勉強、「さそり」と言う渾名のある藤本大佐を今や遅しと待った。乙幹にもなれない軍隊不向きの大学出身が兵隊で7人居る。少隊で何を質問されても大丈夫と言うインテリ一少隊、皆が始めて逢う口髭が有り、厳しい顔だと噂さの中に1月中旬朝7時に部隊長が来た。早速機関銃の陣地から視察、トーチカの銃眼を見るや永い軍隊生活だが俺はこんな大きな銃眼は始めて見た。少隊長、前に出ると大きな声で叱った。こんな事では兵舎での質問を止め此処ですと、端から質問を始めたが、何を聞いてもスラスラと皆答えたので「さすがに東京の兵隊だ頭が良い」と誉められた。早や夕食後飛行機で少隊長に「さそり」が噛み付いただけで帰った。



その時、村長が大きな象牙を部隊長に献上したそうだ。後に全将校に指揮棒の頭の飾りに象牙を付け配り、自分と副官はパイプを作らせ愛用したとの事。本隊と合流後「私と将校には後姿にも敬礼せよ、軍の指定区域以外で隊長の命令の他は死んでも犬死で、戦死とは認めない。2ヶ月に一度本部前広場で、各中隊総当りで銃剣術の勝抜き仕合を行う。4月の水祭りには「郷に入ったら郷に従へ」で現地人と同じに水を掛けられる等々」五個中隊と銃砲隊、計七個中隊がメルギーに合流した後は本物の「さそり」の牙を出し始めた或る時、早朝4時頃隊の50m位手前で、池田運転手に乗用車を止めさせ徒歩で衛兵所を廻り各中隊の「士気を鼓舞」した。私は本隊合流後中隊の新藤軍曹が長で他中隊より8名マライのペナン島に船舶運転講習訓練の為、出張約3ヶ月後帰隊して本部付となり、金井君と（日本医科歯科大学卒）2人で舟艇班で約6ヶ月勤務した。1週間後元憲兵指令官黒田中将がパトウ島四中隊を視察されるとの内示あり（藤本部隊長と士官学校同期生）同期で中将がこちら大佐に成ったばかり、変だなあと岡田副官に伺ったら部隊長は支那で大尉の時、女の事で問題を起して少佐に成るのが3年も遅れたとの事、本部付に私が成り部隊長に申告の際、金井君と私に地下袋2足つつ部隊長より副官が軍手を特別の計だと渡された。

暁棧橋より黒田中将をパトウ島に送り2時間後あと10分か15分で閣下の視察が済む用意をしると三橋準尉が声をかけた。相棒の金井君が居ない、手分けして捜したら、岩影で大野、よだれまで垂らし肝っ玉の太い男だ、大事な時なので皆青く成った。何でも間に合っ

てよかったと。閣下が乗船して約200m走った時、敵グラマン戦闘機が現れ、旋回を始めた、別の船から部隊長以下が大きな声で「船を岸に付けろ」と怒鳴った。

船を岸に廻そうとしたら、閣下は慌てず、「目標暁棧橋に直進せよ」と指図通り棧橋に着いたら「御苦労」とひと言、閣下はやはり大物だ。撃っか、偵察だか解るのであろう。2ヶ月程前船舶受領で泰の旅団まで、一等兵5

人で行った旅団長は白滝中将（藤本部隊長と士官学校同期）高級副官岩本大佐から書類を頂く時、「閣下から部隊長によるしく」と葉巻菓の箱入れを託された。帰りは12隻の船で敵潜水艦に9隻沈没され、板につかまり南の海で4時間浪間を泳いだが海軍に救助され帰隊、終戦3ヶ月前タイ国カンチャナフリで暗号教育1ヶ月間、「全員玉砕せり」の打電等10人中7人試験合格、暗号書を10冊渡され、イザの際は燃やせとライターを渡された。船舶の時は潜水艦に、今度は戦闘機に2回射撃され、サルイン川を船で下り、無事帰隊した。大分戦局が緊迫していた頃、部隊長から訓示があり、「今や米国は日本本土を襲い、近付いて来たがあれは日本軍の作戦で、赤子が母親の乳をほしがって居る所、乳首に吸い付けばぐっと赤子の首を締めると言う「引付け戦法」に出て居る。「各員一層努力せよ」と暫くして日本が無条件降伏。



終戦の知らせが部隊には10日遅れ、1ヶ月後英軍大佐以下100人位印度グルカ英兵と混り上陸して来た。本部前で先ず軍刀、兵機返納式が始まった。渡河点に居た英軍スパイ（現地人）が返納の際少尉の肩章を付けて来たこの男が遂一広場の銃剣の試合規律、頑強な陣地を作った此の部隊は第一級の精鋭部隊と、本国にも英軍大佐にも通報済みと成って居た様だその故で部隊長の帯刀を許されたい、終戦4ヶ月前盗聴で印度のマドラスから英国主力艦隊が、こちらに向けて出発したとの報に第一緊急配備に付き竹張りの耐久陣地附角壕

に4割部隊が入り機関銃は第一線で各陣地に配備に着いた。

通報を受け3日後、別のマライ方向へ艦隊が逸れた、緊急配備を解けと、指令が来た。もしメルギーに艦砲射撃をして、敵が幾万と上陸したら全滅覚悟で戦えと驚かされたが、方向が逸れたのもスパイの通報だとすると煩い部隊長が我々を救ったと噂さが流れた。温和な部隊長ではこうは行かない。我が部隊長は威厳があると、しかし戦中戦後も副官が18か19位のビルマ娘を捜し部公に世話をしていたそうだ。海軍将校用の慰安婦は5~6人、日本の九州天草出身女性が「常盤」と言う和風の建物の中に居ると聞いたが、将校は陸・海共同作戦で攻め立てたとか、19年1月に当地へ

来て5月末に半年で何処か安全な所へ彼女達は行ってしまった様だ。兵隊は膝小僧か椰子の実を抱いて寝て居た。(ウソツケ)此処で文が終ると助平と思われるが、私は生れた時から元助と言う名前で元から助平、解りましたか。

終戦時、兵長ボツタム伍長で内地六部隊が半年、ビルマが3年半、マライ・タイが半年計4年半で神の御加護で無事復員した。ビルマ・キング島沖で4時間泳いでこの島に上れなければ印度洋に出てしまう。板を離して、島まで泳げと言われた時帯剣に吊して有る住吉神社と、成田山のお守りが有った。夢中で島に泳ぎ着き、ほっと一安心して腰のお守りが無い私をきっと神様が守って来れたのだ。この時に戦死200名位、青梅に復員して、ちゃんと御礼参りは致しました。(念の為)

## キール の 思 い 出

村山正昭

濾過器を通してはじめて政治資金として生きてくるという意味であろう名言を拝借して、私なりに血液透析の過去10年をふり返ってみると。

S52年頃より濾過機能の素晴らしく良い中空糸腎(HFK)が出現し、人工糸球体ともいうべき進歩が積み重ねられている。透析療法は腎不全だけでなく血液浄化として適応が拡大されており、分子量の大きい有害物質は濾過で、小分子量は透析でという考えが臨床での出発点であった。

生体にとって有害なものを浄化する方法論は人間社会にも応用可能なものかどうか。汚染を濾過によって浄化する場合、膜の特性から巨悪を眠らせないとすると、案外中小の虫が抜けなかったり、有益なものが抜け過ぎたりして体力の衰えを来たしかねない。

社会に敗者復活のための尿管機能があれば問題処理能力は向上するはずだが、透析器で困難であれば、なおといえようか。

膜の特性を生かした多種多様の透析器が開発されたなかで、効率のよいHFKの普及がもたらした短時間透析は現在では常識となってしまうが、大学を卒業したS45年当時は

プレート型のキール人工腎が主要透析器であった。

今ではほとんど臨床に用いられないが、当時はバッチ式のコイル型で4~5時間透析が行なわれる隣のベッドで、1日8時間も隣つけのキール型は苦痛のものであったと思う。

キールという語感からドイツ的な武骨なイメージを連想させるが、ノールウェイの開発者らの名であり、膜張り、消毒が完全であれば低廉透析という点ではこれに優るものはない。

現在のように日本が世界一の債権国になるとは思ひもかけなかったので、プレートの再利用が可能なキール型は石油資源依存のない治療手段として長い寿命を保つかなと思ってた。しかし改良積層型のいくつかが出廻ったかとみる間に、それらも姿をみせなくなり、さながら若手スターの登場と消滅といった趣すらあった。

高価であったHFKが普及しはじめたのは石油ショック後であったので、中空糸の再利用は無理としても外枠のカートリッジでも再利用しようとか、資源節約の方法が考えられた

のである。

感染予防のためできる限り使い捨てになっ  
た現在からみると、無駄な努力であったが、  
さまざまな資源が地球規模で見直されるとき、  
低廉な医療として完成をみたキール型は透析  
器の原型として永久保存されるべきと思っ  
ている。

この夏、ひどい濁水となれば水道水が汚染  
され易いので家庭用浄水器がバカ売れしたと  
聞く。どうやら以前のような細菌の繁殖しや  
すい活性炭吸着型でなく中空糸利用の濾過型  
であるらしい。濾過器を通してはじめて安心  
して飲めるというわけである。

### 青梅市立総合病院増床計画 意見を聞く会より

62. 7. 20

青梅総合病院の増床計画について、大塚副  
会長の司会のもとに西村会長より経過説明が  
あり、公的病院の増床をいかに捉え、医師会  
とくに開業医の立場で地域医療計画がいかに  
展開されていくか、はじめての問題でもあ  
るため出席会員から積極的な発言がなされた。

当日はフリー・トーキングであり、総合病  
院の増床計画は一つの具体例として引用され  
つつ、病診の機能分担について意見の交換が  
おこなわれた。

増床については84年地域医療計画が西多摩  
医師会の基本方針であり、二次医療圏では増  
床をさけて、機能分化を計ることが厚生省と  
の対応において最も重要なポイントである。

青梅総合病院に関しては拙速を指摘する声  
は事実であるものの、救急病床、後方収容病  
床等絶対的に不足する病床については、病院  
自体の機能分化のためには必要と判断された。

これについて青梅医師会において、容認し  
うる範囲であることが明らかにされた。ただ  
病床数は特定の数量で医療が満足されるもの  
ではないため、今後も各病院から増床計画が  
提出されれば病院外来の拡充が開業医療へ及  
ぼす影響、具体的には住民の大病院指向をさ  
らに促進する、病床が確保されていることか  
ら患者としては病院受診にメリットを求める、  
公的病院の経営向上が患者集中の要因となる  
など極めて明快な分析がなされた。

そこで開業医として病診連携をどう具体化  
するか、病院内に開業医との運営委員会、連  
絡会等を設定しても現実には機能が難かしい  
という苛立ちがあり、紹介患者を開業医に返

す件についてもシステムが明確でなければ患  
者は納得しかねるのではとの声もあった。

また公的病院の受診者は当該地域よりむし  
ろ他地域からのものが多いこともあり、すん  
なり開業医に戻れるケースは少いことが指摘  
された。

今後、老人病院における入退院委員会のあ  
り方が一つの焦点になると思われるが、医師  
会としては西多摩地域医療計画のなかで、病  
院側は連携と機能分担をどう捉えているのか、  
医師会と歩調をとって進むのか、病院独自の  
路線をとるのか、ボールを投げ返すことで意  
見をとりまとめることになった。

文責 村山 正昭

ひ	あ	悲	く	あ	つ	通	つ	
つ	き	し	や	の	ゆ	夜	ゆ	波
ぎ	ら	み	し	世	晴	の	の	多
一	め	は	さ	に	間	酒	夜	野
つ	て	の	の	も			に	先
か	あ	つ	き	つ	吾	飲	吾	生
つ	き	き	わ	ゆ	子	み	子	御
が	ら	き	ま	あ	輝	干	み	子
れ	め	こ	り	れ	て	し	つ	息
て	切	の	て	ば		て	め	
行	れ	世	尚	逢	そ	尚	お	輪
く	ぬ	に		ん	の	の	り	禍
				そ	ま	つ	久	に
				の	ま	ゆ	々	逢
				に	に	の	々	う
梅	梅	梅	梅	梅		月	に	友
雨	雨	雨	雨	雨			好	好
の	悲	あ	明	明				
路	し	り	け	け				
		て	ず	ず				

## 漢方診療実際のA B C

漢方医学には難解な用語が多く、その疾病分類法は現代医学と異なる点が多い。そのため現代医学を学んだ我々には奇異なる印象を与え、とりつきにくくさせることは事実である。東洋医学と西洋医学との相違は、東西両文明の違いに基づくものである。

そこで、ここでは漢方の診断、治療概念とその理解に必要な基礎的用語を解説し、実際の習得法、効果的使用法、注意を要する生薬について話す。

## I 漢方診療の実際

## (1) いわゆる「漢方理論」

## (a) 証

- ① 証とは何か
- ② 証の決定

## (b) 陰陽虚実・気血水

- ① 陰陽
- ② 虚実
- ③ 気・血・水

(i) 気：気の上衝、気うつ、気虚

(ii) 血：瘀血、血虚

(iii) 水：水毒

## (2) 漢方の実際の習得法

- ① フローチャート
- ② パターン認識
- ③ 著効例をよく見る
- ④ 実際から入る
- ⑤ 定石を知ること
- ⑥ 適応と禁忌
- ⑦ 生薬の性質を知る
- ⑧ 現代医学の中における漢方

## II 漢方製剤の効果的使用法

## A 効果を増すための工夫

- (1) 漢方的用法に従う
- (2) 年齢を考慮するとよい場合がある
- (3) エキスは溶かすとよい
- (4) 量と回数とを加減する
- (5) 生姜汁を入れるとよい処方

## (6) 薬の温度

温服が普通

冷服が必要な場合

## (7) 服用時間

原則として食前あるいは食間

頓服が必要な場合

## (8) 服用時、服用後に摂取するとよいもの

- 八味地黄丸・当帰芍薬散（酒でのむ）
- 五苓散（おも湯でのむ）
- 桂枝湯（風邪：熱いうどん）
- 葛根湯（風邪：酒でのむ）

## (9) 同時摂取を避けるもの

牛乳、鉄剤

## B 不快な作用を避ける工夫

- (1) 処方構成する生薬に注意する  
麻黄、大黄、当帰、地黄、川芎、甘草

## (2) 胃腸障害などに対する工夫

- (1) 食後服用
- (2) 減量
- (3) 合方、併用
  - (i) 葛根湯で胃が悪くなる時→小半夏加茯苓湯を併用
  - (ii) 八味地黄丸、当帰芍薬散で胃腸障害→人参湯、四君子湯を併用

## C 効果判定と服用期間

- (1) 効果判定に要する時間、急性症か慢性症か
- (2) 服用期間

## III 注意を要する生薬

## (1) 麻黄

エフェドリン含有→交感神経興奮様作用

年齢により効果が異なる

- ① 循環器疾患には、とくに注意  
虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）  
不整脈

- 高血圧症、高齢者など
- ② 自律神経症状
    - 不眠、興奮、動悸、頻脈
    - 発汗過多
    - 尿閉
  - ③ 消化器障害
  - ④ 交感神経興奮薬との併用による相乗作用
- (2) 甘草
- ① 偽アルドステロン症、ミオパチー、 $(K^+) \downarrow$
  - ② 多剤併用時に注意  
とくに利尿剤との併用時
- (3) 消化器症状を起こしやすいもの
- ① 大黄…下痢
  - ② 麻黄、地黄、当帰、川芎など…胃症状
- (4) 皮フ症状を起こすことのあるもの  
桂枝、麻黄、人参、当帰、地黄など
- (5) その他
- ① 附子
  - ② 生薬アレルギー

## 脊柱側彎症について

62. 9. 24

国立療養所村山病院整形外科 大谷 清

人間の体は脊柱を軸として左右が全く対称である。左右の対称がくずれた状態が側彎である。側彎を発生してくる疾患は極めて多く、そのうちで側彎の発生原因が不明なものがあり、これを特発性側彎症と呼ぶ。原因の明らかなものを症候性側彎症と呼ぶ。発生頻度から約80%が特発性側彎症である。症候性側彎症は数少なく、先天性、ポリオ、CP等によるものである。特発性側彎症は骨成長期の年令に発生してくる。特に10才頃より発生してくるものが約70%である。性別では圧倒的に女子に多く、男女比は1:7~10である。側彎の高位では胸椎(背中)側彎が圧倒的に多く約60%である。彎曲の方向では右突側彎が圧倒的に多く、80~90%がこの型である。以上、特発性側彎症は側彎の原因は不明であるが、以下のような特徴がある。即ち、10才頃より発生し、女子に多く、側彎の型は右側の背中が突出(右突胸椎側彎)する型をとるものが多い。

骨成長期の年令に側彎が発生すると脊椎等骨格に変形が生ずる。骨格に変形のみられる側彎を構築性側彎と呼び、側彎と同時に脊椎の捻転を伴ってくる。特に脊椎の捻転が側彎症の醜形をより著明にする。側彎の程度を表示するために側彎度、捻転度等が計測される。これらはレントゲン写真から計測される。レ

ントゲン撮影は立位、脊柱全長で背部からレントゲン線を照射する。側彎度はコブ法(側彎の上・下縁のなす角)で計測する。正常は $0^\circ$ で、 $30^\circ$ 以下は軽度、 $31^\circ \sim 60^\circ$ は中等度、 $61^\circ$ 以上高度側彎と呼び、外観上目立つ側彎は約 $30^\circ$ 以上であり、 $60^\circ$ 以上になると心肺機能が障害されてくる。6か月間に $5^\circ$ 以上の進行がみられるものを進行性側彎と呼び、約25以上の進行性側彎が治療の対象となる。

治療では装具療法、電気刺激療法、牽引療法、運動療法等の保存療法と手術療法がある。装具療法は保存療法を代表し、ミルウオーキーブレース、アンダーアームブレース等の装具が装着され、長期間の装着が必要である。牽引療法、運動療法は装具療法との併用で効果がある。約 $40^\circ$ 以上は手術の対象となり、手術はハリントン法、ジュールケ法、ドワイカー法等がおこなわれる。側彎症の治療は大変厄介である。早期に発見し、経過観察を含めた早期治療が是非必要である。



**理事会報告**

移動理事会 7月21日

**I 報告事項**

- (1) 都医地区医師会長協議会報告  
西村会長
- (2) 三多摩地区医師会庶務担当理事連絡  
会報告 足立理事
- (3) 青梅市立総合病院増床計画につき「意  
見を聞く会」報告 西村会長

**II 協議事項**

- (1) 医療協開催について 大塚副会長
- (2) 各地区医師会からの提言

**多摩医学会講演会演題募集のご案内**

日時 昭和62年11月21日(土)午後1時30分  
場所 三鷹医師会館

今年も恒例により上記講演会が開催される  
予定です。就ましては、演題を募集致します。

記

演 題 自由  
講演時間 8分 質問 2分  
1 医療機関 1題  
締切 昭和62年9月30日(水)

講演要旨を400字詰原稿用紙1枚に書いて  
9月28日(火)までに西多摩医師会事務局ま  
で、ご提出下さい。

尚、1. 演者は原則としては会員であること  
が必要ですが、会員指導のもとで一  
緒に実際に仕事をした人であれば認めら  
れます。

2. 演者は、都医師会誌に掲載するため  
に講演原稿・写真等を終了後に提出し  
て下さるよう重ねてお願いします。

これと引換に原稿料¥5,000円が支  
給されます。

学術部長 塩澤 永康

**デザイン募集**

**三公立病院 院内通行証**


体験学習の第一歩として、三公立病  
院の外来、医局、病室、手術場、等に  
出入できるように、西多摩医師会  
であり、研修に来たという「証」として  
一目でわかり、しかも、美しい「バッ  
チ」を作成することになりました。  
奮ってご応募ください。

記

大きさ 白衣の胸ポケットに装着する。  
締切期日 10月8日レセプト提出時  
当選者には、薄謝を呈します。

生涯教育委員会  
委員長 塩澤 永康

**訃 報**



梅園病院院長  
**遊佐 忠直先生**  
明治43年1月14日  
享年78才

昭和62年8月9日  
午前2時26分心不全のため逝去されました。  
告別式は8月11日正午より高田馬場大悲山  
観音寺に於て病院合同葬にて執り行なわれ  
ました。  
謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りい  
たします。

## 診療報酬明細書返戻状況

5月分

返 戻 理 由		医科(乙表)件数			
		青 梅	福 生	秋 川	西多摩
1	保険者番号、記号○番号、公費負担者番号、市町村番号、受給者番号の不備又は保険者番号と記号の不一致	20	6	4	32
2	旧証の記号○番号		1	2	5
3	患者名、生年又は生年月のもれ	2	1		
4	傷病名のもれ	1			
5	診療月分、診療開始日、診療実日数、転帰のもれ	11			4
6	診察料(初診、再診、往診又は時間外等の表示)のもれ		1		
7	診療月と診療開始日及び初診料の不一致	1	1		12
8	診療実日数と診察回数又は処方回数との不一致	1	5		4
9	投薬○注射(薬名、規格単位、用量、回数)の不備	3			2
10	処置○手術○検査○X線(薬名、回数、内訳)の不備	1			1
11	入院料の不備				
12	点数欄記入もれ又は点数算出根拠不明		1		1
13	契約外(国保、国鉄、公費等)	2	2		1
14	症状詳記(診療内容及び方針の説明等付せん参照)	2		2	5
15	医療機関(薬局)の申し出によるもの	1			
16	その他		2	1	7
	計	45	20	9	74

## 医師会日誌

7月24日 学術講演会

## 会 議

- 7月2日 管内保健所との懇談会  
 7日 青梅市長との懇談会  
 8日 理事会  
 10日 医政連検討委員会  
 14日 総務会  
 17日 医政連検討委員会  
 20日 青梅市立総合病院増床計画について意見を聞く会  
 21日 移動理事会  
 23日 医療協  
 28日 青梅市立総合病院との話し合い  
 29日 医師会員懇親会  
 31日 会報委員会

## 役員出張

- 8月17日 都医会会長  
 " 三多摩会長  
 " 三多摩庶務部連絡会  
 29日 都医福祉部担当理事、事務長  
 連絡会

## 会員通知

- 会員名簿  
 ○医師会懇親会  
 ○学術講演会  
 ○労働省が行う「昭和62年毎月勤労統計調査特別調査の実施」に対する協力依頼について  
 ○青梅市立総合病院7月分宿日直表  
 ○ " C P C案内  
 ○ポスター(主な農薬中毒の症状と治療法)

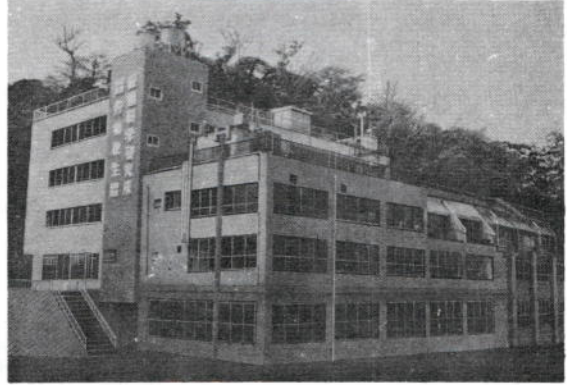
## 講演会・その他

- 7月9日 学術講演会  
 15日 "



## 臨床検査センターの雄 保健科学研究所

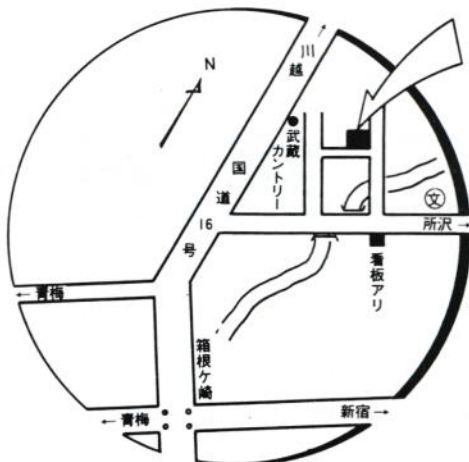
横浜市保土ヶ谷区神戸町106  
電話 045 (333) 1661 (大代表)  
八王子市子安町3-17  
電話 0426 (26) 2203・2204



- 総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。
  - 完全オンラインシステム化を実現致しました。(データ通信システム)
  - 関係医療機関 約 3,500ヶ所
  - 広範囲な検査内容
    - 内分沁学検査●免疫学検査●ウイルス検査●生化学検査●血清学検査●血液学検査
    - 病理組織検査●細胞診検査●重金属検査●水質検査
- ！都川県の御得意先を毎日定期的に集配致します。御一報を御待ち致しています。

## 期待と信頼にこたえて15年!!

検査のことなら**武蔵臨床**へ 電話一本緊急検査に応じます  
学校、会社の集検にも御利用下さい



埼玉県登録衛生検査所

## 武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

埼玉県入間市上藤沢339~1

TEL 0429 (64) 2621(代)

# ハイテクノロジー検査領域へ!

本社総合ラボは、日々進展変化する臨床検査システムに対応すべく、関東医学研究所の総力を投入し、最先端検査機器を駆使した正確な情報の抽出を目指しています。検体のお預りからデータのご報告まで、確実に迅速にお応えします。

**事業内容** 一般検査、血液学的検査、血清学的検査、臨床化学検査、微生物学的検査、ラジオ・アイソトープ検査、病理学的検査、集団検診などの臨床検査



くらしの知恵と情報を

ホームバンクの埼玉銀行



## 埼玉銀行

青梅支店 (TEL 0428-22-1101)  
東青梅支店 (TEL 0428-22-2121)  
青梅支店 (TEL 0428-83-2515)  
奥多摩特別出張所

福生支店 (TEL 0425-51-1021)  
村山支店 (TEL 0425-61-1211)  
五日市支店 (TEL 0425-95-1311)  
河辺支店 (TEL 0428-24-2401)  
秋川支店 (TEL 0425-58-2611)